



高校生未来討議会 ～南区パーティー～

結果報告書



- 1 **事業名称** 高校生未来討議会～南区^{み・な・パ}パーティー～
- 2 **主 催** 相模原市南区役所
- 3 **共 催** 南区若者参加プロジェクト実行委員会
- 4 **開催目的** 平成31年度に「相模原市南区区ビジョン」の計画期間が終了することに伴い、今後、区民会議で新たな区の計画を検討しており、南区の新たな計画の策定にあたっては、若い世代の意見を取り入れていくことが重要であると考え、高校生の視点での区の課題や意見を聴取するため、討議会を開催するもの。
- 5 **開催日時** 平成30年12月16日(日) 午後1時から午後5時まで
- 6 **開催場所** 南区合同庁舎3階 講堂
- 7 **参加人数** 26名
- 8 **参加者等の分析**
- (1) 性別
 男性：13名
 女性：13名
- (2) 参加学校
- 【公立】
- | | |
|---------------|----|
| 県立麻溝台高等学校 | 2名 |
| 県立神奈川総合産業高等学校 | 4名 |
| 県立上鶴間高等学校 | 4名 |
| 県立相模原中等教育学校 | 3名 |
| 県立相模原青陵高等学校 | 3名 |
- 【私立】
- | | |
|--------------|----|
| 相模女子大学高等部 | 3名 |
| 光明学園相模原高等学校 | 3名 |
| 東海大学付属相模高等学校 | 4名 |
- (3) 学年
- | | |
|-----|-----|
| 1年生 | 6名 |
| 2年生 | 15名 |
| 3年生 | 5名 |
- 中等教育学校は、4・5・6年生を1・2・3年生として集計

9 当日の流れ

(1) 開 会

(2) あいさつ

相模原市南区区民会議 松下会長 (相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー)

相模原市南区役所 佐藤区長

南区若者参加プロジェクト実行委員会 細井副委員長

(3) アイスブレイク

(4) グループ討議

(5) 発 表

(6) 講 評

相模原市南区区民会議 松下会長

(7) 閉 会

相模原市南区役所 阿部副区長

進行：南区若者参加プロジェクト実行委員会 草野委員長

10 討議方法について

A～Eの5班に分かれて、生活していて感じる「便利なこと」「不便なこと」から、将来こんなまちになって欲しい、南区に対して不便に感じていることと対応策について検討しました。討議の結果については、各班工夫をして、それぞれ独創的に模造紙にまとめました。

詳細は、3ページ「グループワークの進め方」のとおり。

11 ファシリテーターについて

討議がスムーズに進むように、南区若者参加プロジェクト実行委員会のメンバーが各班に入り、ファシリテーターを務めました。

12 グラフィックカーについて

当日の会議の様子をグラフィッカーが、時系列に沿ってまとめました。

11・12ページ参照



グループワークの進め方

13:30

あなたが生活している「便利なこと」「不便なこと」を最低5枚ずつ付箋に記入してください。

「便利なこと」・・・快適に感じる事、暮らしやすいと思う事 など
「不便なこと」・・・困っている事、課題と思う事 など

13:35

A3用紙に、「便利なこと」を書いた付箋を貼りだし、似ている内容で自由にグループに分けてください。(1枚につき1グループ)
また、付箋の多いグループの順番をひかえてください。

13:45

A3用紙に「不便なこと」を書いた付箋を貼りだし、似ている内容で自由にグループに分けてください。(1枚につき1グループ)
また、付箋の多いグループの順番をひかえてください。

14:00

付箋の中で、「南区に対して不便だと思っていること」に をつけてください。
また、「南区に対して不便だと思っていること」の付箋の多いグループの順番をひかえてください。

14:10

～全体説明～

14:15

「南区に対して不便だと思っていること」で、多かったグループ1位と2位について、どうすれば解決できるか、対応策を話し合ってください。

15:15

～全体説明～

15:20

これまでのことについて、発表用模造紙を作成してください。
この後、「将来こんなまちになって欲しい」について話し合いを行いますので、スペースを空けておいてください。

記入内容 ・ 1位 南区に対して不便だと思っていること 対応策
・ 2位 南区に対して不便だと思っていること 対応策
・ 将来こんなまちになって欲しい

15:35

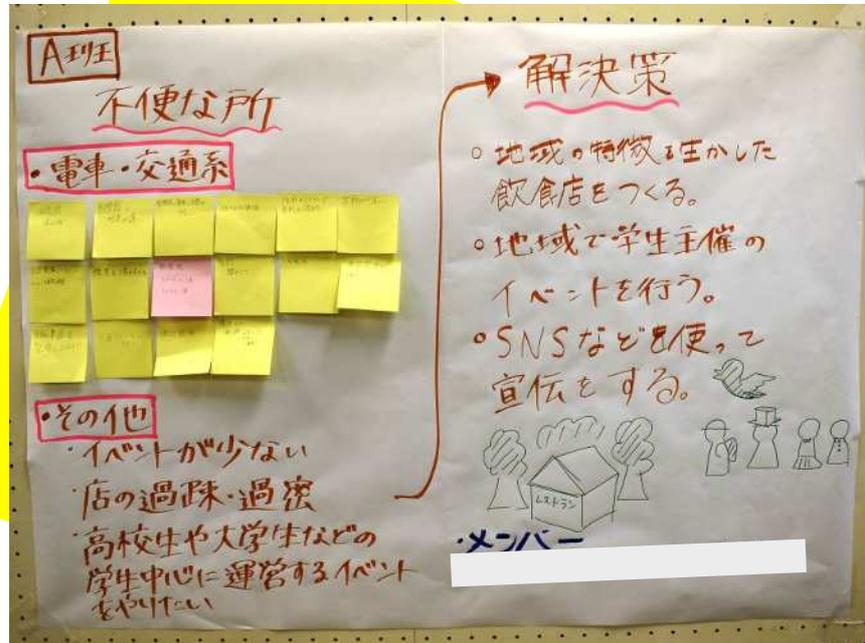
「便利なこと」のグループの順位を参考に、「将来こんなまちになって欲しい」についてまとめてください。また、模造紙を完成させてください。

16:15

発表(各班2分)

1.3 討議結果について

A班



【主な発表内容】

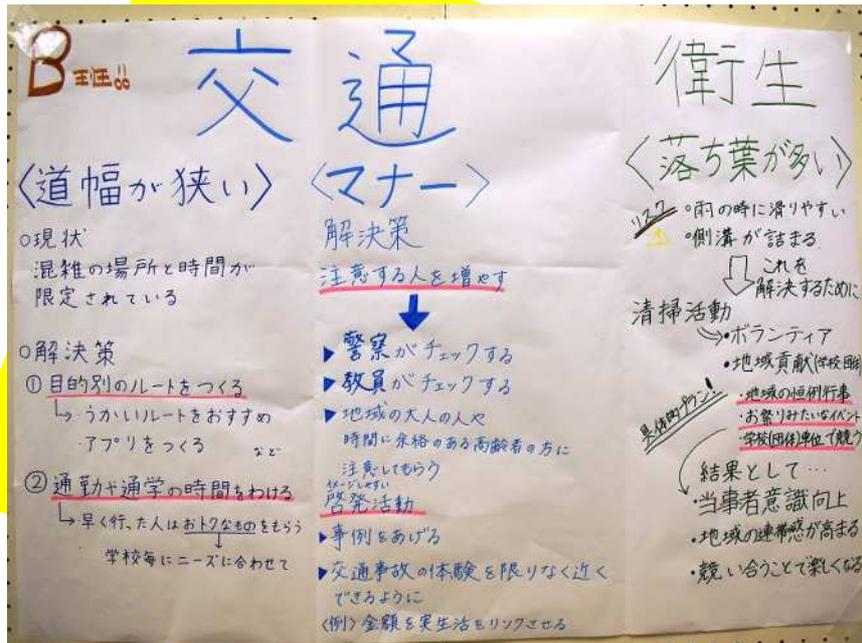
南区について不便だと思っていること

電車交通系

- 《課題》小田急線が混雑している。相模線の始発が遅い。電車の本数が少ない。
《対応策》歩道や車道などの交通網の整備。信号を増やす。街灯を増やす。

その他

- 《課題》イベントが少ない。店の過疎・過密（商店街が衰退して、相模大野周辺が盛り上がっているような差がでている。）
《対応策》地域の特徴を生かした飲食店をつくる。地域で学生主催のイベントを行う。
SNSなどを使って宣伝する。
例として、森の中にレストランを作るなど、インスタ映えを意識していく。



【主な発表内容】

南区について不便だと思っていること

(交通) 道幅が狭い

《現状》 変えることは難しいが、混雑の場所と時間は限定されている。

《対応策》

目的別のルートを作る。自転車専用アプリを作り、迂回ルートを勧めるなど、場所の混雑をへらす。

通勤や通学の時間をわけて、早く行った人がおトクなものをもたらえる。

例えば学校では購買のパンが先にもらえるような券を発行するなど。

(交通) マナー

《現状》 マナーを守らない人が多くいる。

《対応策》

注意する人を増やす。

警察・教員・地域の大人・時間に余裕がある高齢者に注意してもらう。

イメージしやすい啓発活動。

事例をあげる。交通事故の体験を限りなく近くできるようにする。

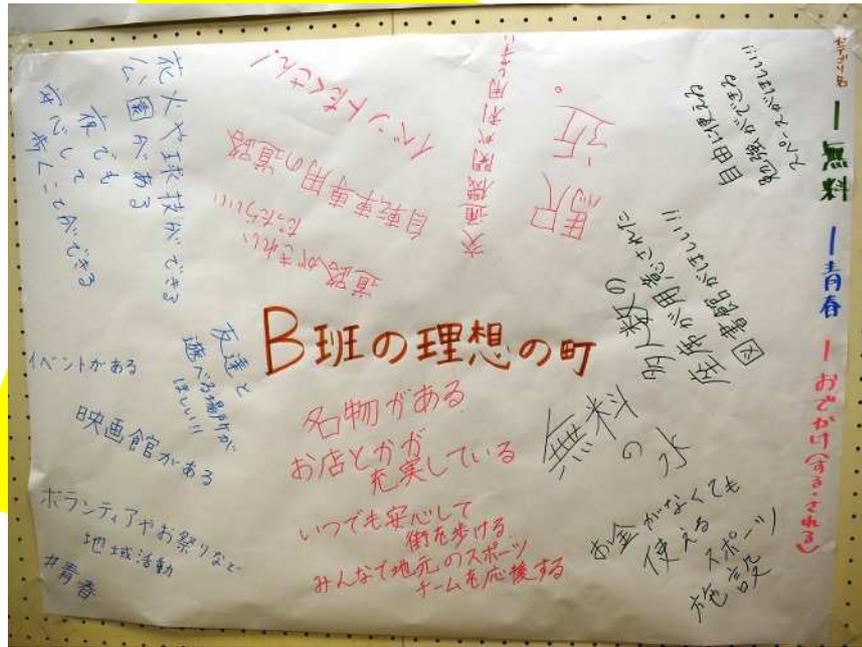
例として、高校生はアルバイトをする人が多いので、もし交通事故を起こした時にアルバイト何ヶ月分の給料がかかるなど、事例を交えてイメージしやすいようにする。

(衛生) 落ち葉が多い

《現状》 落ち葉が多い。雨で側溝がつまる。

《解決策》

学校や団体の地域貢献の一環として清掃活動をする。地域の恒例行事やイベントにしたり、学校や団体単位で量を競うイベントを考えた。地域に関わることで、当事者意識を向上させたり、地域の連帯感が高まったり、競い合うことで楽しいと感じながら行える。



将来こんなまちになって欲しい

高校生が青春を謳歌できるまち

花火や球技ができる公園があったり、映画館があったり、友達と遊べる場所が欲しい。夜でも安心して歩くことができる。ボランティアやお祭りなど地域活動。

お出かけ面

相模原の名物をつくる。お店が充実している。交通機関が利用し易い。いつでも安心して街を歩ける。みんな地元のスपोर्टチームを応援する。駅近。道路がきれいだったらいい。自転車専用の道路。イベントがたくさんある。

無料

高校生はバイトをしているがお金が少ない。ただ、お金が少なくてもやりたいことはいっぱいある。多人数の席が用意されている図書館や自由に使える勉強ができるスペースが欲しい。

D班



【主な発表内容】

南区について不便だと思っていること

施設系

《課題》 娯楽施設が少ない。遊ぶ場所が少ない。ボール使用禁止の公園が多い。

《対応策》 南区に無理に作らないで、区外に行けば良いのではないかと。

道路

《課題》 スクールゾーンが無い箇所が必要な箇所がある。道幅が狭い。

《対応策》 通学中に車が通って危ないのは、時間で区切るような制度を設けたり、学生の交通マナーを向上させる。

相模原に大学が少ない

《課題》 相模原に大学が少ない。

《対応策》 南区に無理に作らないで、区外に行けば良いのではないかと。

将来こんなまちになって欲しい

《南区に対して便利だと思う点》

交通の便が良い。(アクセス面)

自然が多い。(環境面)

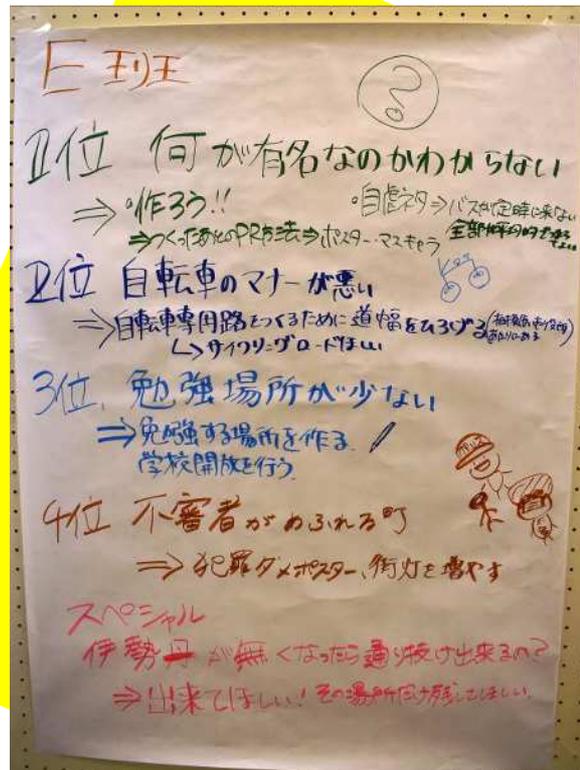
駅の前にスーパーが多く、品揃えが豊富。(経済面)

学校が多い、障害者に優しい、治安がいい、スポーツ施設やホールがある。(その他、市に関すること)

《結論》 地域差をなくし、より“住みやすい街”にする!

南区に対して不便と感じる点と便利と感じる点から、区外に求めているものがあり、区外に出やすいという点、また、区内に交通の便が悪い所もあることから、より楽しむまちとして何かを作っていくのではなく、地域差をなくし、より“住みやすい街”にする。

E班



【主な発表内容】

南区について不便だと思っていること

《改善したいランキング》

1位 何が有名なのかわからない

有名なものを作って、ポスターやマスコットキャラクターを作ってPRする。

例えば、自虐的なネタで、「バスが定時に来ない」や「全部平均的でつまらない」など、傍から見ると悪い印象かもしれないが、PRの手法の一つと考えた。

2位 自転車のマナーが悪い

市全体のことだが、自転車専用道路を作るために道幅を広げる。また、サイクリングロードがあると良い。

3位 勉強場所が少ない

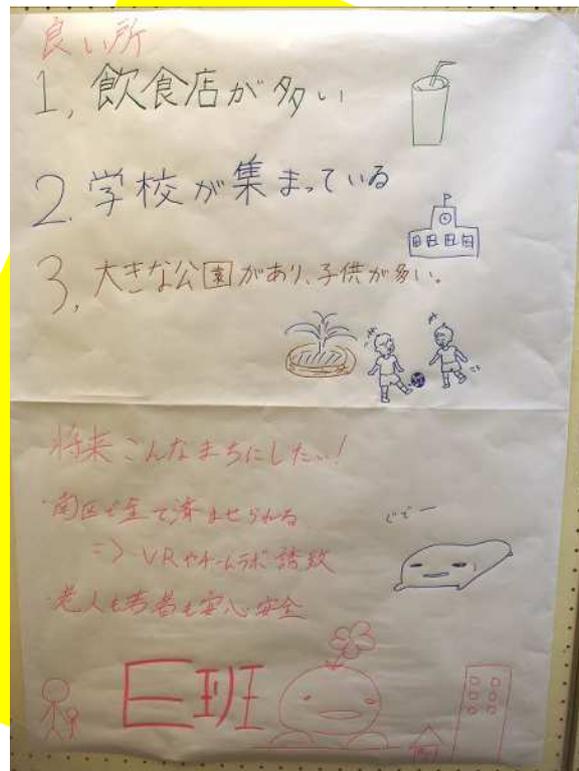
しゃべりながら勉強できる場所を作る。学校開放を行う。

4位 不審者があふれるまち

不審者が多くいる印象があるので、犯罪抑制のポスターや街灯を増やした方が良い。

スペシャル

伊勢丹が撤退した後に、通り抜けできるかが心配であり、できなくなったら大回りしなくてはならない。引き続き通り抜けできるようになって欲しい。



将来こんなまちになって欲しい

《南区に対して便利だと思う点》

飲食店やコンビニなど商業系の施設が多い印象がある。

南区には学校が集まっている。

麻溝公園や相模原公園など大きな公園があり、子供が多く、家族連れが利用しやすい。

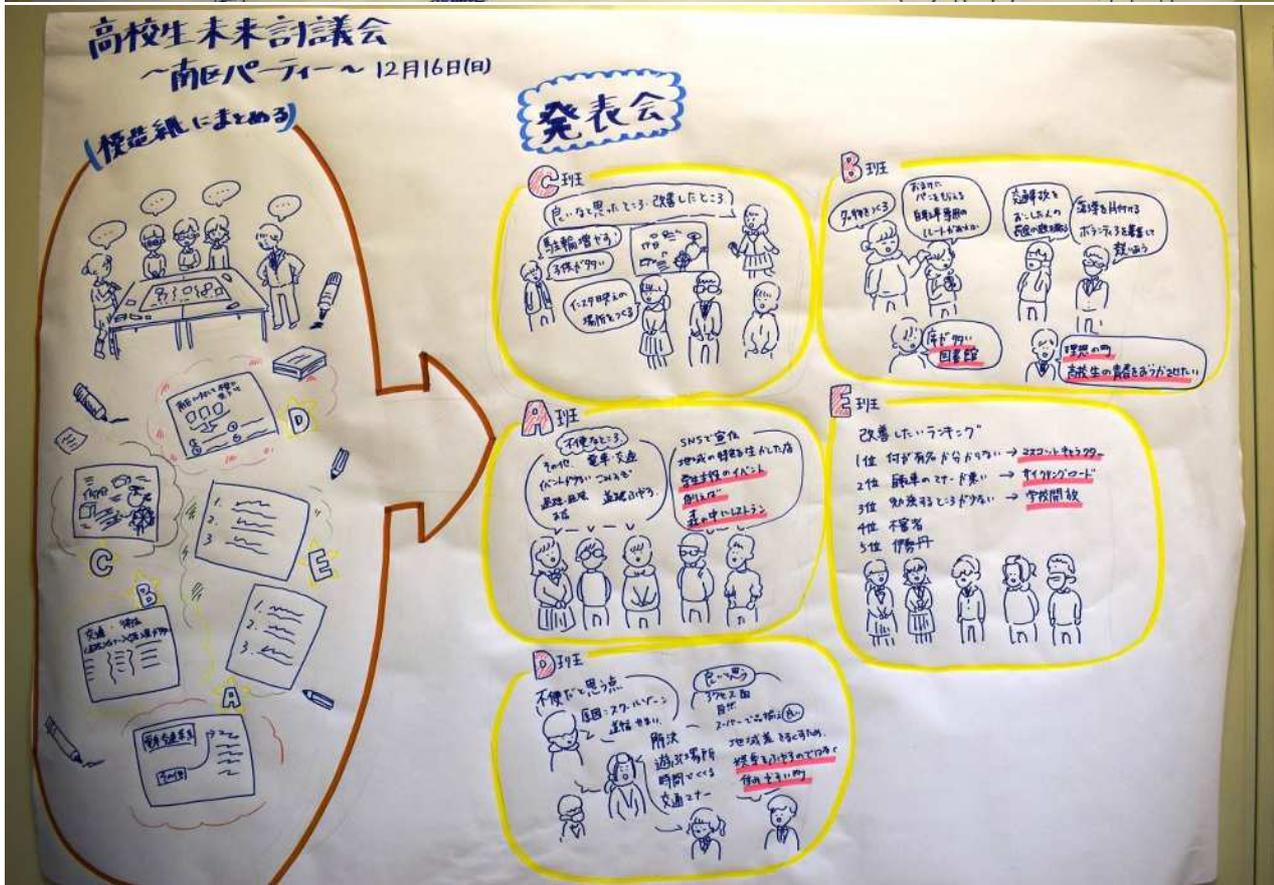
《結論》

南区で全て済ませられる

商業施設は充実しているので、VRゾーンやチームラボなど、最先端技術で遊べる施設があると良い。

老人も若者も安全安心

将来、お年寄りの方も増え、また、若者もここでずっと暮らしていきたいので、お年寄りも若者も暮らしやすい安心安全なまちを作りたい。



1 5 講評

初めての試みであり、最初は緊張していた学生も、若いということもあって盛り上がり、発表も多様で興味深かった。

まちの計画というのは、50代・60代の人々が作っていくことが多く、若い人の気持ちを思って作ってはいるが、自分の体験などに片寄ってしまい、思いが至らない部分がある。そのようなことから、このように直接、高校生から意見を聴く機会を設けられたことが貴重である。このような機会は今後も、是非続けていきたいと思う。

大人は課題を出すことのみをすることが多いように思うが、「こうしたらいいのでは」という解決策を出せるのは、若い人の強みである。

参加者の皆さんが学校に戻って色々な人に本日の話をすることで、輪が広がっていき、大げさなことでなくて良いので、自分達のまちで出来ることを行い、少しずつ自分達のまちを作っていって欲しい。

1 6 討議結果の取り扱いについて

討議の結果は南区区民会議に報告し、平成32年3月策定予定の「南区基本計画」の検討に活用します。